

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

時代は止まらない

校長 香西雅斗

年末に「淘汰と再編の1年を先取り」をテーマにした経済誌を購入しました。その中の対談でフランスの歴史人口学者エマニュエル・トッド氏が「物事はコロナ禍の前から変化しつつあり、コロナ禍でそれが加速しているだけだ。」と指摘していました。確かに杉並区でも「GIGAスクール：生徒一人一台のタブレットによる学習」が前倒しで実施されます。

本校でもオンラインホームルームの試行はもちろん、家族内で濃厚接触者や陽性者が出た場合でも、希望があれば授業の中継を始めました。欠席者との連絡や授業の中継は、コロナに関わらず、これからの標準となり、教材の配布や提出もタブレットを通してできるようになっていきます。十分とはまだ言えませんが、家庭で学習を進めるよりどころができました。

(なお、区の現在の規定では、欠席者以外への中継、例えば学校公開の代替などはできません。)

また、体育大会などでの取組も、コロナ禍での工夫と言うよりも、「個人競技に必ず参加させる」のではなく「生徒が選んで挑戦する」の様に“新しい中瀬中”に向けての加速でした。“コロナ禍が過ぎたら元に戻る”のではないのです。

さて感染の急速拡大に直面し、年末に小池都知事より「医療従事者の方々に感謝や応援の気持ちを伝えるためのお手紙を募集します。」との呼びかけがあり、本校でも216人の生徒が応募しました。冬休み中に、高校の後輩で病院の医師にそれを伝えたところ、とても喜んでいました。その時に聞いたのは、彼の病院はコロナ病床で満杯で、交通事故などの救急は他に回ってもらえないという状況でした。「先輩、くれぐれも事故に遭わないでくださいね。」という彼の言葉が耳に残っています。

また中野区で歯科医師会長も務めていた方からは「大学病院の知り合いから、できる日の午前中だけでもいいから、手伝ってくれないか、そうすれば看護婦がその時間だけでも休める、と頼まれているんです。明日から行ってきます。」という連絡も入りました。

感染拡大をできるだけ防ぐことは、ひっ迫している病院のため、自分を含め助かるはずの命を救うことにつながる、最も大切なことです。第一波の時“強力な規制や監視と罰則”により感染を抑え込んだ国もある中、日本は人との接触を減らすよう“一人一人が努力”し、抑え込みに成功しました。今、まさにその可否が、日本そして中瀬中で試されていると思います。

生徒たちの生活で例をとると“給食中マスクを外しているのにおしゃべりして先生に叱られてやめさせられる”のか、“お互いに声を掛け合い自分たちでおしゃべりしないようにしていく”（休み時間に人の物や体に触れるのも同様）のかの、大きな分かれ道です。

コロナ禍というピンチを、生徒たちが強力な規制や監視と罰則に頼るのでなく、お互いに声を掛け合い、多少の失敗や間違いは許容し合い、安全で安心で希望に満ちた未来に向かう中瀬中を生徒たちが創っていく、『和の中の自立(西山会長)』に向かう大きなチャンスとしましょう。

学校関係者(生徒・教員・保護者)評価結果

令和2年12月7日
杉並区立中瀬中学校

項目		A	B	C	D	E	無答の人数	R2の肯定率 AとB	R1の"	R2の否定率 DとE	R1の"											
		そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない																
回答数:生徒402、保護者363		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100%	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)					
1	生徒は、学校生活に満足している。	生徒											203	139	46	8	5	1	85.3	85.0	3.2	1.8
		教員											4	22	1	0	0	0	96.3	92.6	0.0	0.0
		保護者											148	155	41	15	4	0	83.5	85.3	5.2	5.2
2	生徒は、熱心に授業に取り組んでいる。	生徒											141	183	60	12	5	1	80.8	78.4	4.2	4.4
		教員											8	19	0	0	0	0	100.0	81.5	0.0	0.0
		保護者											126	134	62	28	4	9	73.4	70.1	9.0	7.2
3	生徒は、授業を受けることで、分かることやできることが増えている。	生徒											209	141	31	14	2	5	88.2	86.9	4.0	2.9
		教員											4	13	9	1	0	0	63.0	40.7	3.7	7.4
		保護者											103	165	67	17	3	8	75.5	76.7	5.6	6.3
4	先生は授業で、得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	生徒											66	127	125	58	21	5	48.6	44.7	19.9	20.5
		教員											4	14	5	4	0	0	66.7	51.9	14.8	11.1
5	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。(保護者:学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。)	生徒											126	149	88	21	14	4	69.1	64.9	8.8	12.5
		教員											8	15	3	1	0	0	85.2	77.8	3.7	3.7
		保護者											48	101	137	37	5	35	45.4	53.8	12.8	10.6
6	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	生徒											134	156	72	22	11	7	73.4	70.2	8.4	9.1
		教員											8	12	7	0	0	0	74.1	59.3	0.0	14.8
7	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	生徒											283	91	23	2	0	3	93.7	89.4	0.5	2.6
		教員											12	11	2	2	0	0	85.2	70.4	7.4	7.4
		保護者											70	126	93	21	2	51	62.8	63.7	7.4	7.1
8	生徒は、積極的に学校行事に取り組んでいる。	生徒											197	123	60	8	10	4	80.4	75.3	4.5	8.1
		教員											16	11	0	0	0	0	100.0	96.3	0.0	0.0
		保護者											198	108	37	10	7	3	85.0	86.2	4.7	2.3
9	生徒は、学級の班や係活動、行事への取り組みなどに協力している。	生徒											189	146	48	11	4	4	84.2	82.6	3.8	2.6
		教員											9	18	0	0	0	0	100.0	85.2	0.0	0.0
10	生徒会活動や委員会活動は活発に行われている。	生徒											161	137	65	22	7	10	76.0	84.4	7.4	2.6
		教員											6	15	6	0	0	0	77.8	55.6	0.0	3.7

学校関係者(生徒・教員・保護者)評価結果

令和2年12月7日
杉並区立中瀬中学校

項目		A	B	C	D	E	無答の人数	R2の肯定率 AとB	R1の"	R2の否定率 DとE	R1の"											
		そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない																
回答数: 生徒402、保護者363		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100%	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)					
11	部活動はさかんで、積極的に参加している生徒が多い。	生徒											230	109	42	7	5	9	86.3	86.2	3.1	2.3
		教員											11	15	1	0	0	0	96.3	96.3	0.0	3.7
12	生徒は学校で、ルールを守って生活している。	生徒											227	127	37	5	0	6	89.4	87.5	1.3	2.6
		教員											7	16	2	1	0	1	88.5	74.1	3.8	3.7
		保護者											205	124	23	5	2	4	91.6	85.6	1.9	2.0
13	先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応している。	生徒											121	156	82	20	12	11	70.8	66.8	8.2	7.5
		教員											7	15	3	1	0	1	84.6	77.8	3.8	0.0
		保護者											59	131	108	20	7	38	58.5	62.9	8.3	7.3
14	学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	生徒											127	157	82	22	8	6	71.7	68.5	7.6	8.6
		教員											7	15	5	0	0	0	81.5	63.0	0.0	3.7
		保護者											136	152	54	10	7	4	80.2	82.7	4.7	2.6
15	道徳の時間で、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんな話し合っている。(保護者: 学校での生活を通して他者と共によりよく生きるための力が育まれている。)	生徒											151	157	67	17	7	3	77.2	79.0	6.0	6.0
		教員											7	14	5	0	0	1	80.8	77.8	0.0	0.0
		保護者											137	163	45	12	3	3	83.3	84.9	4.2	2.3
16	生徒が、お互いに分かり合い協力し合い、安心安全な生活を送ることができる、学級・学年づくりが行われている。	生徒											188	135	51	14	7	7	81.8	82.0	5.3	4.2
		教員											6	18	2	1	0	0	88.9	63.0	3.7	0.0
		保護者											123	158	47	11	6	18	81.4	68.6	4.9	6.9
17	学校は、いじめや不登校などの課題解決に向け、協力し迅速に取り組んでいる。	教員											10	15	1	1	0	0	92.6	81.5	3.7	0.0
		保護者											43	112	132	12	15	49	49.4	54.4	8.6	7.1
18	先生は、生徒からの相談に、積極的に応じてくれている。	生徒											161	126	73	13	11	18	74.7	70.9	6.3	5.8
		教員											9	17	1	0	0	0	96.3	85.2	0.0	0.0
		保護者											57	105	129	19	7	46	51.1	62.9	8.2	6.7
19	友達や先生、家族のことで悩んだとき、相談できる先生やスクールカウンセラーがいる。(学校は、生徒が人間関係や心の問題で悩んだとき、その解決を支援してくれる。…保護者)	生徒											163	93	82	23	30	11	65.5	72.1	13.6	10.4
		教員											4	15	7	1	0	0	70.4	37.0	3.7	7.4
		保護者											48	106	125	19	13	52	49.5	55.7	10.3	8.1

